【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公開番号】特開2005-331964(P2005-331964A)
【公開日】平成17年12月2日(2005.12.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-047
【出願番号】特願2005-171920(P2005-171920)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　9/08　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/06　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/08　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/20　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　9/09　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　21/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　9/08　３６５
Ｇ０３Ｇ　9/08
Ｇ０３Ｇ　15/06　１０１
Ｇ０３Ｇ　15/08　５０１Ｄ
Ｇ０３Ｇ　15/08　５０１Ｚ
Ｇ０３Ｇ　15/08　５０４Ａ
Ｇ０３Ｇ　15/08　５０４Ｂ
Ｇ０３Ｇ　15/20　５０５
Ｇ０３Ｇ　9/08　３６１
Ｇ０３Ｇ　21/00　３２６
Ｇ０３Ｇ　15/08　５０７Ｌ

【手続補正書】
【提出日】平成19年7月2日(2007.7.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
結着樹脂、着色剤及びワックス成分を少なくとも含有するトナー粒子を有するトナーにおいて、
透過型電子顕微鏡（ＴＥＭ）を用いて該トナー粒子の断層面を観察した時に、該ワックス成分が結着樹脂中において粒状に分散しており、且つ、結着樹脂中に存在する着色剤の投影面積（Ｂ）とワックス成分中に存在する着色剤の投影面積（Ｗ）との比率Ｂ：Ｗが０：１００～６０：４０であることを特徴とするトナー。
【請求項２】
該比率Ｂ：Ｗが、０：１００～４０：６０であることを特徴とする請求項１にトナー。
【請求項３】
該トナー粒子は、形状係数ＳＦ－１の値が１００～１６０であり、形状係数ＳＦ－２の値が１００～１４０であることを特徴とする請求項１又は２に記載のトナー。
【請求項４】
該トナー粒子は、形状係数ＳＦ－１の値が１００～１４０であり、形状係数ＳＦ－２の

値が１００～１２０であることを特徴とする請求項１又は２に記載のトナー。
【請求項５】
該トナー粒子は、形状係数ＳＦ－２を形状係数ＳＦ－１で除した値（ＳＦ－２）／（ＳＦ－１）が１．０以下であることを特徴とする請求項１乃至４のいずれかに記載のトナー。
【請求項６】
該着色剤が、カーボンブラックであることを特徴とする請求項１乃至５のいずれかに記載のトナー。
【請求項７】
該トナー粒子中に含有されている残留モノマーの含有量が、トナー粒子の重量を基準として５００ｐｐｍ以下であることを特徴とする請求項１乃至６のいずれかに記載のトナー。
【請求項８】
該トナー粒子中に含有されている残留モノマーの含有量が、トナー粒子の重量を基準として１００ｐｐｍ以下であることを特徴とする請求項１乃至６のいずれかに記載のトナー。
【請求項９】
外部より帯電手段に電圧を印加し、静電潜像担持体に帯電を行なう帯電工程；帯電された静電潜像担持体に静電荷像を形成する静電荷像形成工程；現像剤担持体に担持されたトナーで、該静電荷像を現像してトナー像を静電潜像担持体上に形成する現像工程；静電潜像担持体上の該トナー像を記録材に転写する転写工程；記録材上のトナー像を加熱定着する定着工程；を少なくとも有する画像形成方法において、
該トナーが、請求項１乃至８のいずれかに記載されたトナーであることを特徴とする画像形成方法。
【請求項１０】
外部より帯電手段に電圧を印加し、静電潜像担持体に帯電を行なう帯電工程；帯電された静電潜像担持体に静電荷像を形成する静電荷像形成工程；現像剤担持体に担持されたトナーで、該静電荷像を現像してトナー像を静電潜像担持体上に形成する現像工程；静電潜像担持体上の該トナー像を中間転写体に転写する一次転写工程；該中間転写体上のトナー像を記録材に転写する二次転写工程；記録材上のトナー像を加熱定着する定着工程；を少なくとも有する画像形成方法において、
該トナーが、請求項１乃至８のいずれかに記載されたトナーであることを特徴とする画像形成方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
さらに本発明は、外部より帯電手段に電圧を印加し、静電潜像担持体に帯電を行なう帯電工程；帯電された静電潜像担持体に静電荷像を形成する静電荷像形成工程；現像剤担持体に担持されたトナーで、該静電荷像を現像してトナー像を静電潜像担持体上に形成する現像工程；静電潜像担持体上の該トナー像を記録材に転写する転写工程；記録材上のトナー像を加熱定着する定着工程；を少なくとも有する画像形成方法において、
上述の本発明のトナーを用いることを特徴とする画像形成方法に関する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００３２】

さらに本発明は、外部より帯電手段に電圧を印加し、静電潜像担持体に帯電を行なう帯電工程；帯電された静電潜像担持体に静電荷像を形成する静電荷像形成工程；現像剤担持体に担持されたトナーで、該静電荷像を現像してトナー像を静電潜像担持体上に形成する現像工程；静電潜像担持体上の該トナー像を中間転写体に転写する一次転写工程；該中間転写体上のトナー像を記録材に転写する二次転写工程；記録材上のトナー像を加熱定着する定着工程；を少なくとも有する画像形成方法において、

上述の本発明のトナーを用いることを特徴とする画像形成方法に関する。